

磯部鉄工

下関本社に第2工場

9億円投資
来年稼働へ

大型の産業用機械装置に対応

荒木社長「雇用創出で地元経済に貢献」

川金ホールディングス傘下の磯部鉄工（本社・山口県下関市、社長・荒木逸治氏）は、下関市長府扇町に本社第2工場を建設する。第2工場を建設する。需要増への対応や、現場では対応できなかった大型の産業用機械装置を手掛ける狙い。投資額は約9億円で、来年6月の稼働開始を予定している。

先週21日には工場増設に関し下関市と協定調印式を実施。荒木社長と前田晋太郎市長が出席し、山口県の末廣一水産業労働部企業立地統括監が立ち会った。協定により、地域未来投資促進法で定められた「地域経済牽引事業」として支援措置を受けられ、磯部鉄工は正社員5人を新たに雇用する予定だ。

磯部鉄工の大口顧客であるブリヂストンや丸一鋼管、丸一ステンレス鋼管は積極的な設備投資を計画している。第2工場での需要に際えるとともに、長大な生産ライン向けの設備機械も効率よく安全に造れるようになる。

第2工場は、1992年に移転・開設した現・本社工場建屋の隣接地に新設する。荒木社長は「下関で



協定調印式を実施（左から荒木社長・山口県の末廣統括官・前田市長）

の大型投資は30年以上ぶり。地元での縁に心え、雇用を創出し下関経済に貢献したい。本社第2工場では、今まで以上に当社の小倉工場で製造している製品加工にも力を入れていく」と話している。

磯部鉄工は1914年に下関で創業し、九州大学との産学連携で特殊鋳物にも進出。下関工場では産業用機械装置の設計や製作、据付を、北九州市の小倉工場で特殊鋳物を製造している。2018年にアント・キャピタル・パートナーズが資本参加し、21年4月にJFEスチールやJFE

商事、水島鋼板工業でんだ荒木氏を社長に迎えた。23年7月にとなっている。

川金HDの完全子会社

